



2学期のスタート!!!



2学期がスタートしました。子どもたちの元気な声が響いてこそこの“学校”であると、笑顔を間近で見ながら実感しています。

今学期も、保護者の皆様のご理解とご協力の程をよろしくお願いいたします。

「ひとつのことば」始業式の話から



(1枚の白紙をぐじゃぐじゃに丸めて)これは、誰かに悪口や嫌なことを言われた人の心です。傷ついて、くしゃくしゃになっています。どうすればよいのでしょうか？(◎広げてあげる!)
そうですね、元に戻してあげましょう。(演舞台上で紙を広げ、手のひらでアイロンをかけるように)どうでしょうか？(◎ダメ!しわしわ!)さて、紙を広げたけれど、しわがたくさん残っています。傷つき、くしゃくしゃになった紙は、どんなに伸ばしても、元どおりにはなりません。人の心はどうでしょうか？一つの詩を紹介します。

「ひとつのことば」

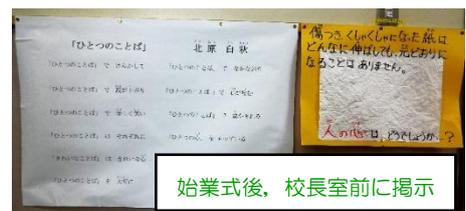
北原 白秋

「ひとつのことば」で けんかして
「ひとつのことば」で 頭が下がり
「ひとつのことば」で 楽しく笑い
「ひとつのことば」は それぞれに
「きれいなことば」は きれいな心
「ひとつのことば」を 大切に

「ひとつのことば」で なかなおり
「ひとつのことば」で 心が痛む
「ひとつのことば」で 泣かされる
「ひとつの心」を もっている
「やさしいことば」は やさしい心
「ひとつのことば」を 美しく



言葉は、使う人の心にあるものが、形になって表れたものです。皆さんには、言われた人の心が傷つき、痛くて苦しくなってしまうような言葉を使ってほしくありません。くしゃくしゃになった心の傷は、完全に消えてなくなることはないからです。そして実は、言った人の心にも傷がつき、その傷がやがて痛みとなって返ってくるからです。最近では、相手に直接ではなく、スマホなどから人を傷つける言葉を発する問題が増えています。この機会に、自分が使っている言葉を振り返ってみてください。相手のことを思いやる優しい言葉があふれる東小であってほしいと思います。そして、皆さんが毎日笑顔で、楽しく生活できるような学校にいきましょう!



始業式後、校長室前に掲示

パリ五輪で思うこと



※ 9/11(水)ネットモラル教室をぜひご参観ください!

4年に一度のオリンピック・パラリンピック! 毎回アスリートの方々からは“感動”をいただいています。しかしながら今回のパリ五輪では、いつもとは違う視点で思うところがありました。先日、選手やその関係者に対するインターネットでの誹謗中傷が8,500件超あったと、国際オリンピック委員会(IOC)選手委員会が発表しました。各競技に熱くなる故、観戦者・視聴者に様々な思いが生じることは理解できます。心の中で思うことは自由です(「内心の自由」憲法第19条)。家族や知人と、その話題で盛り上がることも想像できます。でも、直接会っていないから、匿名だからなどの理由で、相手が傷つく様な内容を安易に投稿する神経は全く理解できません。

子どもたちには「ネットリテラシー(インターネットを適切に使いこなす能力)」をしっかりと身につけてほしいと思います。保護者の皆さまにも、昨今の子どもたちを取り巻く現状(スマホやSNSの危険性、トラブルの実例など)をご理解いただき、子育てに生かしていただければ幸いです。

※ネットモラル教室の詳細は、9/2配信の“sigfy”をご参照ください。全学年保護者様対象です!